

平成 25 年 7 月 1 日

国土交通大臣 太田昭宏 殿

公明党兵庫県本部 代 表 赤羽 一嘉  
同 兵庫県議団 団 長 野口 裕  
同 幹事長 合田 博一

---

## 「名神湾岸連絡線」の早期着工を求める要望書

---

産業競争力の強化のためには、空港・港湾と幹線道路が一体となった陸海空の総合的な物流ネットワークの形成による物流効率化が重要です。特に、アジアや世界への窓口となる国際物流拠点や、日本有数の製造拠点や消費力を誇る後背地を有する関西では、これらを結ぶ高速道路ネットワークの役割に大きな期待が寄せられており、ミッシングリンクの早期解消が重要な課題となっています。

こうした中であって、名神高速道路と阪神高速道路湾岸線を結ぶ「名神湾岸連絡線」は、関空・伊丹・神戸の関西 3 空港間の定時移動を実現、国際物流基幹ネットワークである名神高速道路と阪神港の直結、大阪湾岸道路の利用促進や阪神高速神戸線、国道 43 号における交通混雑の緩和、沿道環境の改善、さらには防災力の向上による安全・安心の確保など、多くの効果が期待される路線です。

したがって、名神湾岸連絡線の早期着工に向けて、下記要望します。

### 記

- 一、国際物流ネットワークの構築や交通混雑の緩和、地域の生活環境の改善、防災力の向上など、多くの効果が期待される「名神湾岸連絡線」について、計画段階評価を速やかに開始するなど、当該路線の早期着工に向けた取り組みの加速化を図ること。

以上